

ナノ型乳酸菌® nEFのNK細胞活性亢進作用

試験内容

健康なマウスにナノ型乳酸菌nEFを経口投与して脾臓ナチュラルキラー(NK)細胞の活性亢進作用を検証した。

試験結果

- 🔍 nEFの投与用量依存的にNK活性が亢進した。(図1)
- 🔍 nEF高投与用量(5 mg/kg B.W.)で顕著にNK活性が亢進。(p<0.05)
- 🔍 白血球中のNK細胞関連因子も高値を示した。(図2)

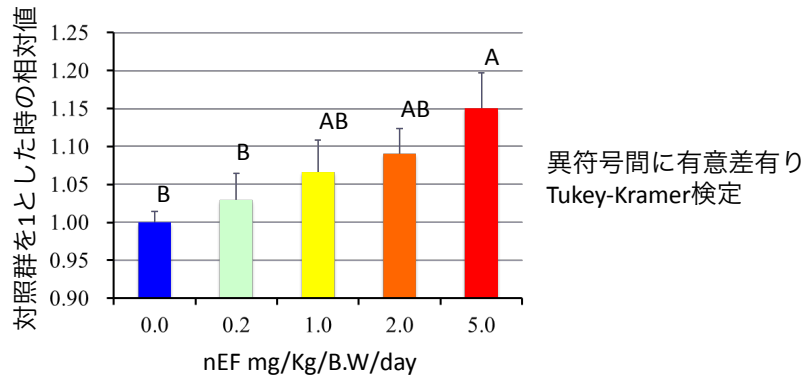
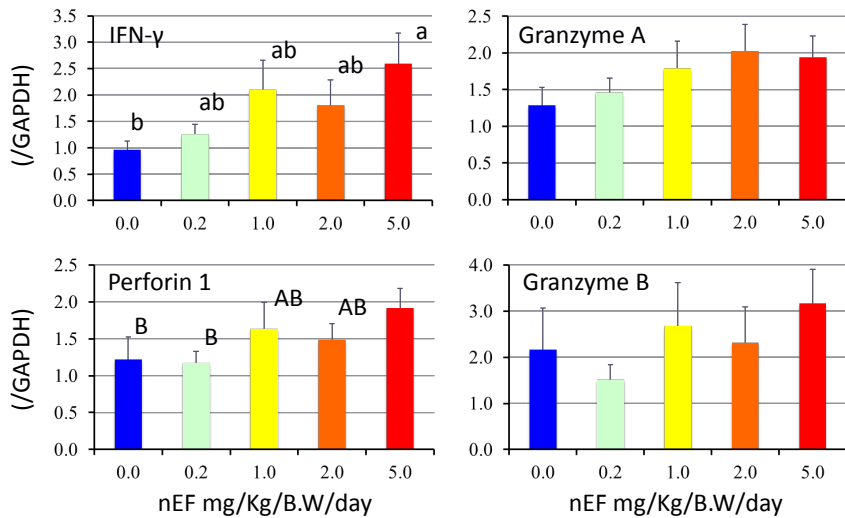


図1 脾臓中白血球NK活性 (E:T比= 2:1)



IFN-γ : 異符号間(Small)に有意傾向(p<0.1)有り
Perforin 1 : 異符号間(Capital)に有意差(p<0.05)有り
Tukey-Kramer検定

図2 白血球中のNK細胞関連因子

解説

nEFの投与量依存的にNK活性が亢進したことから、**nEFが腸管免疫を介して脾臓NK細胞の活性化**に働くことが示唆された。nEF5mg/Kg/B.W/dayの高投与群では、NK細胞の働きに関連する因子のIFN-γとPerforin 1のmRNA発現量に統計的に有意な差が認められた。なおnEF投与による臨床的な異常は認められなかった。

(日本栄養・食糧学会2014 発表)